

ループするこの登山道は、三平山の山頂に到達したのち、元の地点に戻ってくる。完了に2時間弱を要する、4.5キロメートルのルートである。また、ハイカーは、山頂から元来た道を引き返すこともできる。この場合、時間はおよそ80分に短縮される。登山道はなだらかな300メートルの標高を登っていく。標高差が小さいことから、この登山道は、ほとんどの年代、能力のハイカーに適している。

三平山（1,010m）は、鳥取県と岡山県の県境にまたがり、大山隠岐国立公園の広域の眺めを楽しむことができる。ハイカーは、山頂から北のほうに、中国地方の最高峰である大山（1,729m）を見ることができる。北東には、蒜山三座の3つの峰が織りなす、独特の稜線が見られる。真東には、起伏のある蒜山高原と蒜山盆地が、まるで真庭市の揺り籠のように、悠然と広がっている。

登山道は針葉樹とオークの森を貫いており、季節を問わず、ハイカーは美しい枝葉に囲まれる。三平山の山頂と南側は、笹とすすきの広い野原に覆われている。

1898年、日本軍は、乗用馬の育成、訓練のため、蒜山の草原の2,300ヘクタールを堀で囲った。登山道の横には、所々に、この貴重な軍馬の脱走を阻止した土の壁の名残りがあがるが、そのほとんどは、高草に隠れている。